

運輸総合研究所(JTTRI) アセアン・インド地域事務所(AIRO)

開設記念シンポジウム

梨田大使 挨拶文

サックサヤーム 運輸大臣，宿利運輸総合研究所会長，ご臨席の皆様，本日はお招き頂き，誠にありがとうございます。

ただ今ご紹介頂きました、駐タイ日本国大使の梨田です。JTTRI-AIRO 開設記念シンポジウムの開催にあたり，一言ご挨拶申し上げます。

JTTRI-AIRO は，運輸・観光分野における研究調査や政策提言などを50年以上にわたり担ってきた JTTRI のアジアで初となる海外拠点です。

皆様ご存じのとおり，近年タイでは，近隣のアセアン各国と同様，鉄道や道路などの交通インフラの整備が急速に進められつつあります。

他方，バンコクを中心に，慢性的な交通渋滞や，頻発する交通事故，大気汚染など，交通に起因する様々な問題を抱えています。

また新型コロナウイルスの発生以降，大きく傷ついた観光関連産業の復興もまだ緒に着いたばかりです。

このような中，今後AIRO が実施する運輸・観光に関する研究調査、セミナーなどの活動は、タイの抱える課題を解決する一助となることでしょう。

また，AIRO の活動エリアは，タイのみならずアセアン全域からインド地域にまで及んでおります。

AIRO の各国での活動を通じて，交通・観光分野の政府，企業学識等の有識者達がバンコクに惹きつけられ，バンコクがアジアを代表する「交通・観光分野の知の拠点」として発展していくことを強く期待しております。

今回のAIRO 開設記念シンポジウムは、コロナ以降の社会経済情勢の激変により大きな影響を受けている「物流」がテーマと伺っております。

様々な知見を持つ関係者間での議論により、タイを中心としたASEANにおける物流の問題を明らかにし、その解決策を探るという本シンポジウムは、まさに、AIROを通じて幅広い関係者の知恵を集め、タイひいてはASEAN が抱える課題を解決することを目指すものであり、AIRO 開設記念シンポジウムに相応しい、大変意義深いものであると確信しております。

加えて、今年 2022年は、日タイ両国が「日暹（せん）修好と通商に関する宣言」に署名し、正式な外交関係が開始されてから135周年に当たります。

このような節目の年に AIRO がタイに設立されたことで、今後ますます日タイ両国の結びつきが強まっていくことを期待しております。

最後に、このシンポジウムのご成功と、JTTRI-AIRO のご発展、本日ご列席の皆様のご健勝とご多幸を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

以上